

elysia



karacter 500





そして今、まったく違う何かのために

karacter 500は、鮮やかな色でいっぱいボックスです。マスタリンググレードのサチュレーション、チューブにインスパイアされた歪み、見事な破壊を含む完全なスペクトルをカバーしています。

アウトボードの完全なラックだけがこれらのとらえどころのない、しかし非常に望ましいスタイルの色調を実現できる時代は終わりました...

このオールインワンソリューションは、デュアルモノ、リンクされたステレオ、またはリンクされたおよびリンクされていないM/S操作用に設定できる2つの個別のチャンネルを提供します。

並列信号処理用の統合ミックスステージと独自のカラーコントロールにより、その驚くべき柔軟性が向上します。

ユニット全体はディスクリートクラスAトポロジで設計されているため、ほとんどのローファイサウンドでさえ、キャラクターのハイエンドな感触の恩恵を受けます。トラックを強化したり、すべてをデシメートしたりします。それはキャラクターの問題です。

この素晴らしいマシンで無数の楽しみをお楽しみください!

Compatibility	3
Installation	3
Controls	4
Connectors	6
Mastering-Grade Saturation	7
Tube-Inspired Distortion	8
Glorious Destruction	9
Mid/Side Processing	10
M/S Mode	11
Appendix.....	12

Compatibility

karacter 500モジュールは、API 500シリーズ互換のラックフレーム（別売り）に取り付ける必要があります。このフレームが提供する電源とオーディオコネクタが必要であり、この製品だけでは本来の目的に使用できません。

消費電流は +/-16 ボルトDCで210mA（スロットあたり105 mA）です。これは実際には、karacter 500のオーディオパスの個別のクラスA設計の結果として、他の一部の500シリーズモジュールが消費する電力よりも多くなっています。

ほとんどのAPI 500互換ラックは問題なくこの要件を満たしていますが1つのラックに設置できるユニット数に制限がある場合があります。

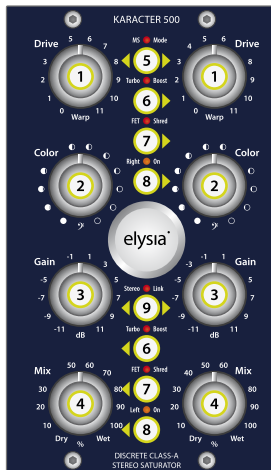
疑問がある場合は、特定のラックの製造元に確認してください。

Installation

以下の簡単な手順に従って、karacter 500モジュールをインストールしてください。

1. API 500シリーズ互換ラックの電源を切り、電源ケーブルを電源から外します。
2. モジュールをラックの2つの空きスロットに挿入します。両方のPCBコネクタがラックコネクタと一致していることを確認してください。
3. モジュールを所定の位置にそっと押し込みます。力を入れすぎないでください。
4. ラックの製造元から提供された4本のネジでフロントパネルを締めます。
5. XLRオーディオケーブルを接続し（詳細については6ページを参照）ラックの電源を入れます。

それでうまくいくはずです。karacter 500でたくさんの楽しみを！



Controls

① Drive

飽和/歪み/破壊の全体的な強度を決定します。
時計回りは“もっと”を意味します。

② Color

高調波と周波数の関係を変更します。ミドルはフラットです。左に回すとダブ、右に回すとシュレッドします。

③ Gain

出力ゲインの量を設定します。
このコントローラーは、レベルをカット（左廻し）およびブースト（右廻し）できます。ミドルはフラットです。

4 Mix

直接信号と処理済み信号を任意の関係でブレンドします。
左= 100%ドライ、右= 100%ウェット。

5 M/S Mode

ステレオからM/S処理に切り替えます。
左側のコントローラーと下部のスイッチはミッド、右側のコントローラーと上部のスイッチを制御します。スイッチはサイドを処理します。

6 Turbo Boost

真にワイルドなディストーションのための追加キックを提供します (FETシユレッドモードでのみ使用可能)。

7 FET Shred

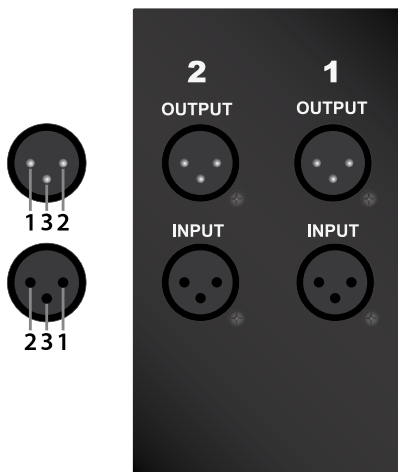
マスタリンググレードの飽和 (LEDオフ) からチューブにインスパイアされた歪み (LEDオン) に切り替えます。

8 Left/Right On

チャンネルをアクティブにするか、ハードワイヤーバイパスに切り替えます。

9 Stereo Link

ステレオソースを処理するために両方のチャンネルをリンクします (左のコントローラーと下部のスイッチが両方のチャンネルのマスターになります)。
チャンネルのリンクはM/Sモードでも機能します。リンクされたステレオモードとまったく同じように動作するため、少し奇妙に見えるかもしれませんが。
ただし、ここでは両方のチャンネルのサイド情報が単一のオーディオパスで処理されるため、このモードでは、自然なコンポネントの許容誤差によって引き起こされる左右のチャンネル間の避けられない違和感が低減されるため、この方法には依然として利点があります。



Connectors

オーディオ出力 (+4 dBu)

ピン割り当て (バランス): 1アース 2ホット (+) 3アース

ピン配置 (アンバランス): 1アース 2ホット (+) 3アイドル

オーディオ入力 (+4 dBu)

ピン割り当て (バランス): 1アース 2ホット (+) 3コールド (-)

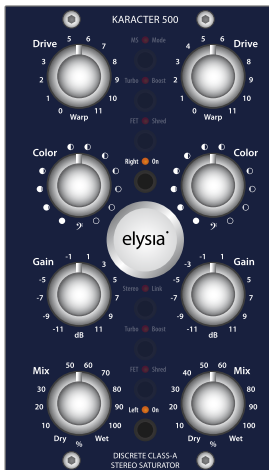
ピン配置 (アンバランス): 1アース 2ホット (+) 3アース

モノ操作: 入力的一方または両方を接続し、シングルまたはデュアルモノチャンネル用の出力ペア1および2を選択

ステレオ操作: 入力1と出力2の両方を接続 - 左と右のどちらを選択するかはあなた次第です。



Stereo Link



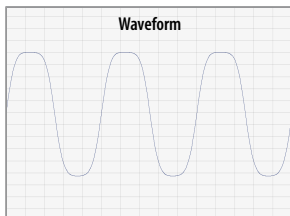
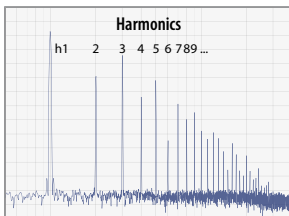
Dual Mono

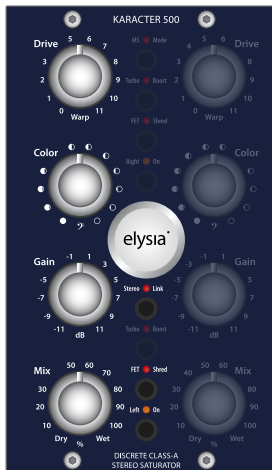
Mastering-Grade Saturation



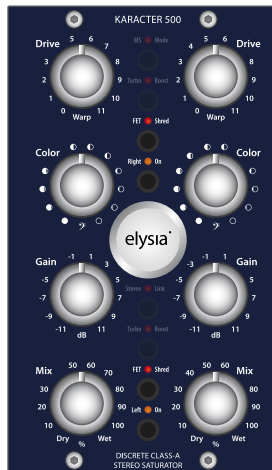
このモードでは、karacter 500はソフトな特性曲線で穏やかな全高調波歪み(THD)を生成し、対称的なクリッピングをもたらします。

サウンドは太くなりますが、そのまま残ります。バス、ステム、完全なミックスに最適な色です。





Stereo Link

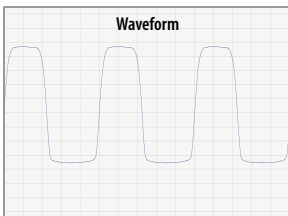
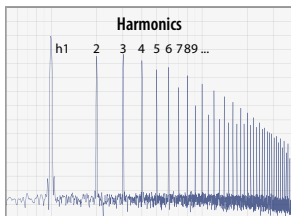


Dual Mono

Tube-Inspired Distortion

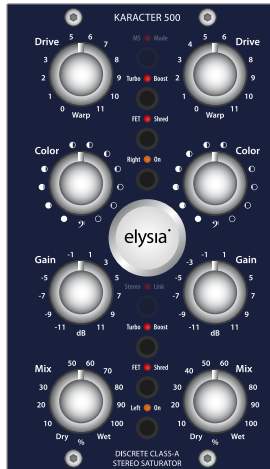


FETシュレッドモードでは、karacter 500の動作が大幅に変化します。サウンドは即座に真空管アンプを連想させ、非対称なディストーションが広範囲に及んでいます。カラーコントロールを広く使用することをお勧めします。発見するニュアンスは非常にたくさんあります...





Stereo Link

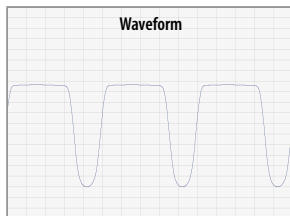
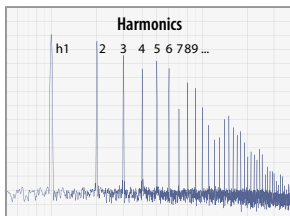


Dual Mono

Glorious Destruction



今、これは限界を押し広げています。
Turbo Boostオプションは、FETシュレッドモードでのみ使用
でき、ドライブレベルが高い場合に最適に機能します。
歪み回路の動作点をシフトさせ、さらに非対称な波形を生
成します。サンプルを強く叩きます！





Mid/Side Processing



M/Sテクノロジーは、ステレオマイキングの一種として一般的に知られています。この手法では、中央の信号(M)にカーディオイドパターンのマイクを使用し、サイドの信号(S)に90°のオフセットのある双方向パターンのマイクを使用します。

このテクノロジーの主な利点は、モノの互換性です。

FMラジオ局はM/Sテクノロジーを使用してステレオを送信します。

このらの理由でFMラジオ局は、正確に信号を送ることができるのです。

M/S信号を作成するには、ステレオ和の左チャンネルと右チャンネルを追加して中央(M)を生成し、サイド(S)は左チャンネルから右チャンネルを差し引いて作成します。

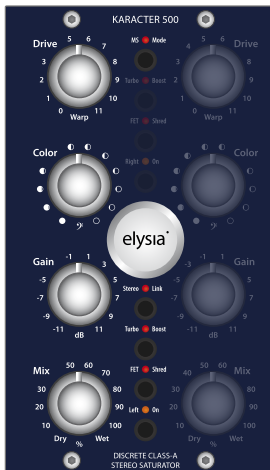
$$M = L + R \quad S = L - R$$

M/S信号を再びステレオにデコードするには、Mを左チャンネルのSに加算し、Sを右チャンネルのMから減算します。

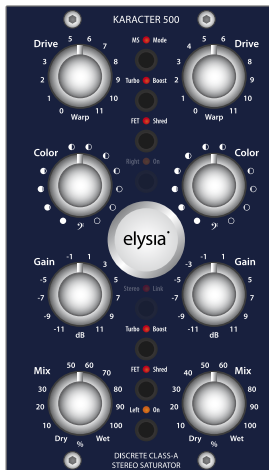
$$L = M + S \quad R = M - S$$

M/Sエンコーダーとデコーダーをオーディオプロセッサに統合すると、従来のステレオデバイスではほとんど提供できない新しい可能性が生まれます。主な利点の1つは、中間信号とサイド信号を別々に処理できることです。これにより、たとえば元のステレオスペクトルを壊すことなく、センターサウンドをより強固にすることができます。

もちろん、すでに完成したミックスのサイド信号の存在感を高めることも可能です。ステレオワイド感も速く効果的に影響を受けます。また、ステレオミックスでは選択できなかったミックスの特定の部分を、M/Sモードで可能な限り正確に処理することもできます。



Linked M/S



Unlinked M/S

M/S Mode



ここで最も興味深いオプションは、リンクされていないM/Sモードです。これにより、ミッドシグナルとサイドシグナルを互いに完全に独立して処理できるようになります(左がミッドチャンネルになり、右がサイドチャンネルになることに注意してください)。

センターに高い彩度を適用し、サイドを完全にそのままにするか、その逆、またはその間のすべてを残すことができます...

ゲインコントローラーのさまざまな設定を使用して、ステレオスペクトル内に微妙なまたは大きな変化を作成できます。

Left Onボタンは常にM/Sモードで両方のチャンネルを切り替えます。



Technical Details

Frequency response:

- 100 % Dry <10 Hz - 400 kHz (-3 dB)
- 100 % Wet <10 Hz - 27 kHz (-3 dB)

THD+N (100 % Dry):

- @ 0 dBu 0.013 %
- @ +10 dBu 0.024 %

THD+N (100 % Wet in Saturation Mode):

- @ 0 dBu Min Drive 0.47 %
- @ 0 dBu Max Drive 35.1 %

Noise floor 20 Hz - 20 kHz (A-weighted):

- 100% Dry -91 dBu
- 100% Wet (depending on Drive and Gain) -81 to -91 dBu

Dynamic range 20 Hz - 22 kHz: 112 dB

Maximum input level: +21 dBu

Maximum output level: +21 dBu

Input impedance: 10 kOhm

Output impedance: 68 Ohm

CE Conformity

CE elysia GmbH, Am Panneschopp 18, 41334 Nettetal, Germany, declares with sole responsibility that this product complies with the following norms and directives:

- 2006/95/EG Low Voltage Directive (formerly 73/23/EWG or 93/68/EWG)
- 89/336/EWG EMC (Electromagnetic Compatibility) Directive
- DIN EN 55103-1 EMC of audio equipment - Emission
- DIN EN 55103-2 EMC of audio equipment - Immunity

This declaration becomes invalid by any unapproved modification of the device.

Nettetal, 01.11.2015 - Ruben Tilgner & Dominik Klaußen

Precautions



- 感電の危険性があります。
- シャーシを開けないでください。
- 問題が発生した際には正規のサービススタッフへ問い合わせください。
- 電源を入れる前に、正しい電圧が選択されていることを確認してください。
- ヒューズを交換する際には、必ず同じタイプのものを使用してください
- この機器は必ずグランドを接続する必要があります。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- ユニットの上や近くに花瓶や飲料などの液体を置かないでください。
- 雨に濡れる場所や、湿気がある場所は避けてください。
- 水の近く(濡れた地面や、プール、バスタブなど)の近くでの使用は避けてください。



- 動作中、デバイスの表面が高温になることがあります。
- ラジエーターやストーブのような熱源のそばに設置しないでください。
- ユニットの周りは常に空気が循環するための十分なスペースを確保してください。
- 背面の循環口を塞がないでください。



- 決してパワーアンプの出力を機器に接続しないでください。
- ユニットは固いボードの上もしくは適切なラックに設置してください。
- マニュアルに記載されている使用方法に従ってください。



- このユニットは、寒い場所から暖かい場所へ移動した場合内部に結露が発生することがあります。ユニットのダメージを避けるために、電源を入れる前にユニットが室温に到達するまでお待ちください。



Warranty Info

詳しくは、保証書の裏面をご覧ください。

Legal Info

The information in this document is subject to change without further notice and shall not be deemed as an obligation or warranty of any kind by the manufacturer. No warranties, express or implied, are made with regard to the quality, suitability or accuracy of this document.

The manufacturer reserves the right to change the contents of this document and/or the associated products at any time without the provision of prior notice. The manufacturer shall not be held liable for damages of any kind arising from the use, or the inability to use this product or its documentation.

The information in this document is subject to copyright. All rights, technical changes and errata are reserved. No part of this manual may be reproduced or transmitted in any form or for any purpose without the explicitly written permission of the copyright holders.

elysia and karakter are registered trademarks of elysia GmbH. Other product and brand names contained in this document are used for identification purposes only. All registered trademarks, product designations or brand names used in this document are the property of their respective owners.



This product is manufactured according to the 2002/95/EC directive. The purpose of this directive of the European Union is the Restriction of Hazardous Substances (RoHS) in electronic equipment in order to protect health and nature. Dispose separately!

elysia GmbH
Am Panneschopp 18
41334 Nettetal
Germany
info@elysia.com

コンチネンタルファーイースト株式会社

106-0032 東京都港区六本木3-18-9コンチネンタルビル
TEL:03-3583-8451
<http://www.cfe.co.jp/>